

各 位

株式会社 東北銀行

FCP 岩手ランチ支援による ABL 1 号案件について

～食の安全・安心の向上を支援します～

東北銀行（取締役頭取 浅沼新）では、岩手県信用保証協会の保証制度である「流動資産担保融資制度（ABL）」を活用して、岩手県内の水産加工業者に対し、同社が保有する「在庫（主にイカ）」を担保に 1 億円の融資枠の設定を行いましたのでお知らせいたします。本件は、FCP 岩手ランチ支援による ABL 1 号案件となります。

当行は、岩手県が中心となって取組んでいるフード・コミュニケーション・プロジェクト岩手ランチ（※1）に参画し、食の安心・安全を基本として事業活動を行う食品事業者を支援するとともに、その取組を評価し、柔軟かつタイムリーな金融サービスの向上に取り組んできたところであります。

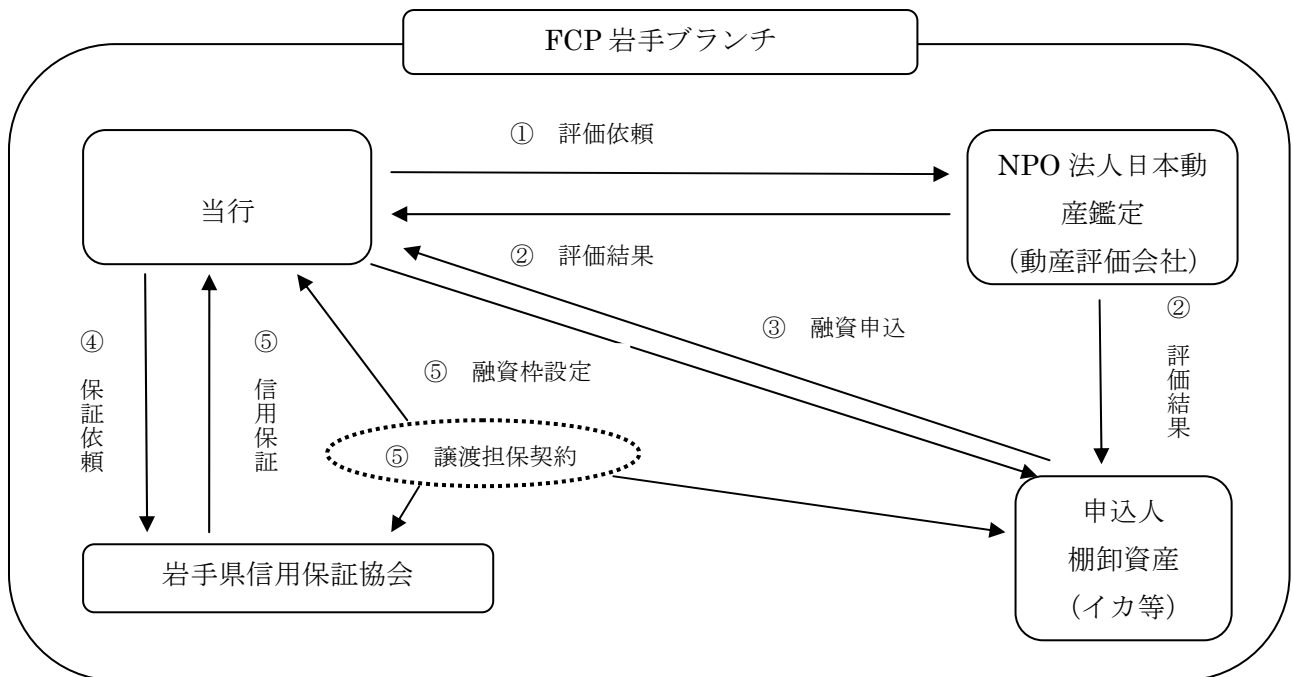
この度、この取組の一環として、当行、岩手県、岩手県信用保証協会及び外部の評価専門会社である NPO 法人日本動産鑑定が連携し、動産の価値のみならず、その管理状況や商品の市場性等事業活動全体の評価を実施し、ABL（流動資産担保融資）による融資枠を設定いたしました。

当行では、今後とも食品関連事業者の事業活動の支援を行い、食に対する信頼向上に取り組むとともに、お取引様のニーズにお応えする金融サービスの向上を図り、地域経済の発展に貢献してまいります。

1. 流動資産担保融資の概要

融資先	岩手県内の水産加工業者
融資額	融資枠 1 億円
契約日	平成 22 年 3 月 31 日
期間	1 年
資金使途	運転資金
担保	イカ、さんま等
融資先の概要	・加工技術に定評があり、付加価値の高い商品を生産・販売している。 ・原材料の受入から商品在庫の保管等の管理が適切に行われている。

2. 本件スキーム図の概要



※1 フード・コミュニケーション・プロジェクト（FCP）岩手ブランチとは

岩手県内食品事業者の支援及び農商工連携による岩手ならではの安心・安全のフードチェーン構築による地域活性化をテーマに、行政機関、金融機関、民間企業等で構成する研究会です。

FCPとは、平成20年度から農林水産省が提唱しているもので、食品事業者が主体的に行う「食の安心・安全」の活動を「見える化」することにより、食に対する消費者の信頼向上や、企業業績の向上につなげようとする取組みです。

【本件に関するお問い合わせ先】

東北銀行 戦略サポート部（担当：中村）

Tel.019-651-6161（内線：3338）